【公報種別】実用新案法第１４条の２の規定による訂正明細書等の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【登録番号】実用新案登録第3201827号(U3201827)
【訂正の登録日】平成28年8月18日(2016.8.18)
【登録公報発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)
【出願番号】実願2015-5471(U2015-5471)
【国際特許分類】
Ａ４１Ｄ　13/08　(2006.01)
Ａ４４Ｃ　5/00　(2006.01)
Ａ４４Ｃ　5/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｄ　13/08　１０４
Ａ４４Ｃ　5/00　Ｄ
Ａ４４Ｃ　5/20　Ｄ
Ａ４４Ｃ　5/20　Ｅ

【訂正書】
【提出日】平成28年7月26日(2016.7.26)
【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮
【訂正後の請求項の数】2
【訂正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
手の甲を覆う大きさに形成された可とう性を備える板状のベース本体部と、
前記ベース本体部の一方面に載置されるディスプレイ部と、
前記ベース本体部の他方面における一方端辺に接続された帯状の手首用止着部材と、
前記ベース本体部の他方面における他方端辺に所定の間隔に離間して接続された環状の２以上の指用止着部材と、
を備え、
前記ベース本体部の一方端辺は、略直線状に形成され、かつ、前記ベース本体部の他方端辺側は、片手のうちのすべての指の付け根の位置の並びに沿うように、ベース本体部の外側に向かって凸に湾曲して形成され、
前記帯状の手首用止着部材の一方端および他方端が接合することで手首に巻きつけられるように止着され、前記環状の指用止着部材が少なくとも小指と親指に止着されることで、前記ディスプレイ部が手の甲の領域に配置されるように形成されることを特徴とする、ディスプレイ保持装置。
【請求項２】
前記ディスプレイ部は、表示部と前記表示部を保持するための台部とを含み、
前記表示部の幅は、手首の幅よりも大きな大きさで形成され、
前記台部において、
前記表示部を保持するための保持面は、略平面に形成され、
前記保持面とは反対側の面は、上に凸に湾曲して形成され、前記ベース本体部に固着されることを特徴とする、請求項１に記載のディスプレイ保持装置。